

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	重症心身障がい児放課後等デイサービスKou+N			
○保護者評価実施期間	2025年2月 17日		～	2025年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年2月 17日		～	2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達の気持ちに寄り添い、やりたいと思うことを大切にしています。 ・事業所の明るい雰囲気。	子ども達の笑顔を大切にしています。毎月、遊びのテーマを決め、そのテーマを中心に支援しています。個人の課題も遊びの中に取り入れ、個々にあった遊び方を楽しみながら活動できるように考えています。季節を感じられる遊びや製作も行っています。	子ども達同士の関わりが持てるように職員が間に入りながら、子ども達同士が触れ合ったり関わりを持つことでお友達の事を認識していけるように個別活動だけでなく集団活動も意識して行っています。そして、お友達が楽しんでいる様子を見て、苦手なこともやってみよう！と思えるような、そんな雰囲気づくりを大事にしています。
2	・多職種連携を大切にしています。 ・専門職の強みを生かす。	わからないことはわからない。と言いやすい環境づくり。わからないことがわかる楽しさを知りスキルアップできる環境を目指しています。子ども達の介助の仕方、支援の仕方、健康面の配慮等、多方面にわたって意見が出るので偏りが無くなる。	わかる楽しさ、支援に対する専門的な知識のスキルアップを目指すために研修する機会を増やしていきたいと考えています。
3	・保護者様からの事業所評価において「満足度」の項目は全て満点を頂きました。	・事業所での活動の様子を写真で送らせて頂いています。お子さまの表情を確認できることが何より保護者様の安心に繋がると感じています。	・送迎時のフィードバックを大切にしております。その際に、共有しなければいけない情報はその日に職員全員が周知できるよう伝達しており、知らない。という状況が無いよう取り組んでいます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・外出支援の企画がほとんどない。	お子様の健康状態と季節（気温）の兼ね合いなど躊躇されるところが多かったのではなかなか踏み切れずにいました。	今年は近場の天王寺公園など企画していきたいと考えています。
2	・協議会への参加 ・地域で他のこどもと活動する機会がない。 ・保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていない。	計画したいと思っていますが、まだ企画、立案までは時間がかかりそうです。	現在、支援業務で時間いっぱいになっており、まだ余裕がありません。事業所全体の経験値があがることで余裕が出てくるよう精進したいと思います。
3			